

環境調査結果のお知らせ

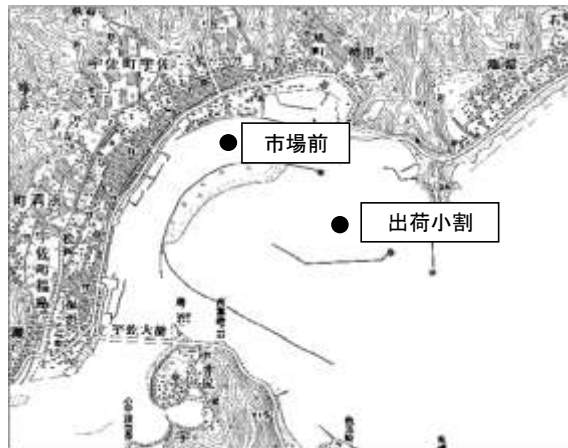
本日、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で63cells/ml、ケラチウム属が最高で31cells/ml認められました。浦ノ内湾内は、カレニア・ミキモトイが全ての観測点で細胞密度が被害の想定されるレベル、ケラチウム属が水試小割前以外の観測点で細胞密度が被害の想定されるレベルになっており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。

慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ属
市場前 透明度: 3.4m	0m	1	0	0
	2m	63	14	0
	5m	39	18	0
出荷小割 透明度: 3.3m	0m	7	0	0
	2m	46	0	0
	5m	40	31	0
(参考) 光松 透明度: 2.0m	0m	6	0	0
	2m	410	110	0
	5m	470	90	0
(参考) 大鹿 透明度: 2.0m	0m	1	0	0
	2m	1,150	60	0
	5m	440	110	0
(参考) 水試小割前 透明度: 2.4m	0m	0	3	0
	2m	430	70	0
	5m	210	40	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百~5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)